

スクリーンタイム設定方法

令和 4 年 2 月

品川区教育委員会

目次

スクリーンタイムでできること	1
スクリーンタイムの設定方法	2
スクリーンタイムをオンにする	2-3
休止時間	4-5
App 使用時間の制限	6

スクリーンタイムでできること

1. iPad の使用状況の確認

- (1)一週間分の使用状況をグラフで確認することができます。
- (2)何のアプリをどのくらい(時間)を使用しているのか確認できます。

2. iPad の使用制限

- (1)保護者がスクリーンタイムのパスワード(4桁)を設定することで、設定した内容を児童生徒が変更できないように管理できます。
- (2)iPad(アプリ)の使用を時間帯で制限することができます。
- (3)アプリごとに1日あたりの使用時間を制限することができます。



ご家庭のルールにあわせて、
スクリーンタイムを設定してください。

このマニュアルでは、「休止時間」、「App 使用時間の制限」の設定について紹介しています。
学校に登校している時間帯は、使用制限をかけないようにお願い致します。

また、スクリーンタイムによる制限をかけた場合は、運用管理上、教育委員会および学校が把握する必要があるため、以下フォームに制限内容を入力してください。

【制限内容報告フォーム】



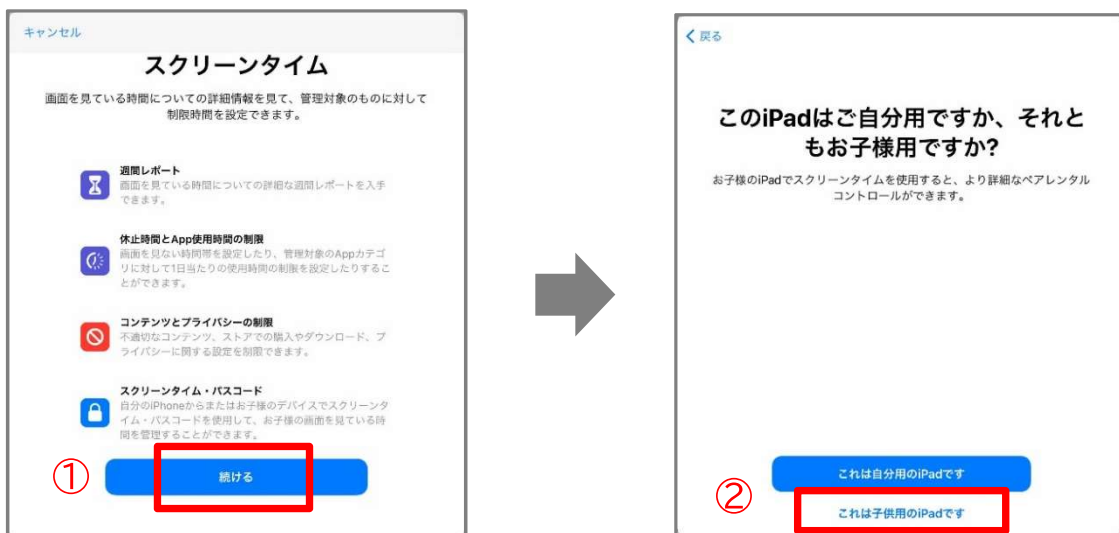
スクリーンタイムの設定方法(家庭用)

■スクリーンタイムをオンにする

1. ①「設定」 > ②「スクリーンタイム」 > ③「スクリーンタイムをオンにする」を押します。



2. ①「スクリーンタイム」> 「続ける」 ②「この iPad はご自分用ですか、それともお子様用ですか」> 「これは子供用の iPad です」を押します。



3. ①「休止時間」> 「あとで行う」 ②App 使用時間の制限> 「あとで行う」
③コンテンツとプライバシー> 「続ける」を押します。(①②は、後で設定した方が細かい設定が可能)



4.「スクリーンタイム・パスコード」

- ①「4桁のパスコードを入力する」(保護者が決めてください)>
- ②「キャンセル」> ③「スキップ」を選択します。



これでスクリーンタイムがオンになり、細かく設定できる画面になりました。
この画面で、使用状況の確認やアプリの時間制限等を設定することができます。



※「コンテンツとプライバシーの制限」は、インターネットフィルタリングサービスにより、既に制限を実施しているため、変更の必要はありません。

※ご家庭では、「休止時間」、「App 使用時間の制限」、「常に許可」の設定が可能です。

■ 休止時間（参考例:夜7時～朝7時までの使用制限）

現在、インターネット閲覧については、フィルタリング機能により夜9時～朝7時まで使用制限をかけていますが、ご家庭のルールに合わせて、指定した時間帯で iPad の使用制限を行うことが可能です。
※学校に登校中の時間帯は、使用制限をかけないように設定してください。

1. 「休止時間」を選択します。



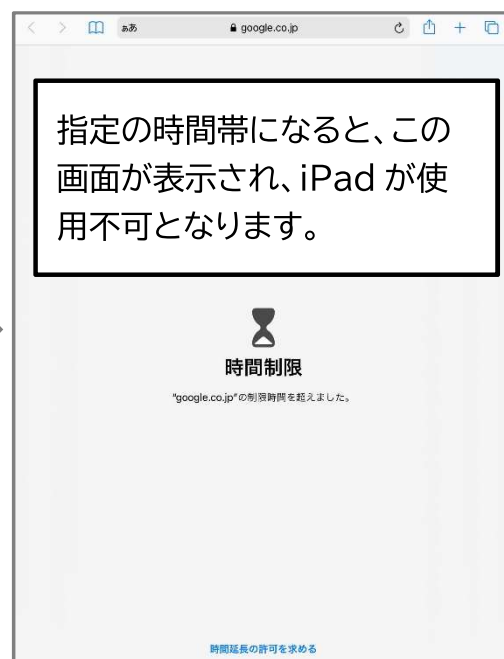
設定例

- 1～3年生
午後7時～午前7時
- 4～6年生
午後8時～午前7時
- 7～9年生
午後9時～午前7時

2. iPad を使用できなくする時間を設定する。

「休止時間」と「休止時間中にブロック」をオンにして、開始と終了時間を設定します。

※「曜日別に設定」を選択すると、曜日ごとに時間帯を設定できます。



■ App 使用時間の制限(参考例:YouTube の使用を1日1時間にする)

アプリやインターネットサイト(URL 指定)ごとに1日あたりの使用可能な時間を設定できます。
ここでは、YouTube の使用時間を1日1時間までとする制限の設定方法を説明します。

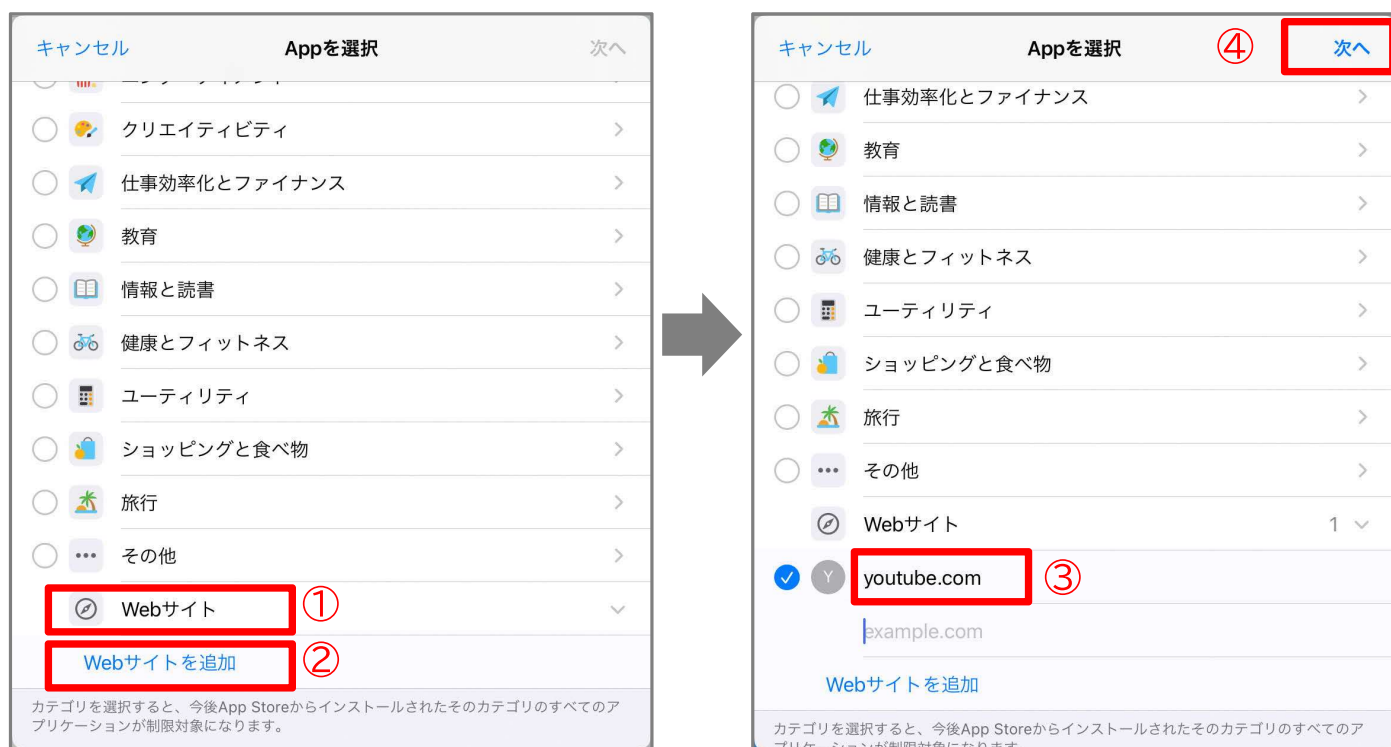
設 定 例

- YouTube の1日の使用時間= 1～2 時間

1. ①「App 使用時間の制限」をタップし、②「制限を追加」を選択します。



2. 「App を選択」画面で一番下の①「Web サイト」をタップし、②「Web サイトの追加」を押します。
③「youtube.com」と入力し、④右上の「次へ」を押します。



3. 1日あたりの使用時間を設定し、「使用制限終了時にブロック」をオンにし、「追加」をタップします。
※「曜日別に設定」を選択すると、曜日ごとに使用時間を設定できます。



ここで使用できる時間を設定します。

4. これで設定が完了です。

